

I 自己評価

1 学校教育目標	1 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 2 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 3 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇第1学年	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・多くの生徒及び保護者は、本校へ入学して良かったと感じている。 ・ホームページやメールサービス、連絡文書などを積極的に活用し、速やかに情報を伝える必要がある。 ・「学校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせようと努めている」生徒の87.3%があてはまると回答した。継続して、高校生としてふさわしい人間形成に努める。 ・「将来の希望に沿った具体的な進路指導や適切なアドバイスが行われている」の項目は、生徒85.2%保護者77.6%で、1年生の早い時期から保護者に向けた情報提供などを計画的に行う必要がある。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇家庭との連携を密にし、生活習慣を確立するとともに、欠席や遅刻の防止を図る。 ◇相手を思いやったり、進んで奉仕したりする心を育てる。 ◇課題に積極的に取り組み、自己の進路目標を具体化する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学年会 ・生徒指導部との連携指導 ・進路指導部との連携 ・系列長とコース長との連携	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 欠席・遅刻・早退・保健室利用減の指導 (2) 身だしなみ指導の実施 (3) 進路に関わるガイダンスなど積極的な活用	(1) 出席状況とその状況把握・対応 (2) 身だしなみ指導個票の活用と生徒への意識 (3) 生徒の意識・行動、系列・コースへの意気込み	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・学年集会を実施（4/11,6/2,8/28,10/2,1/9） ・欠席や遅刻した生徒、保護者への状況確認 ・着こなしセミナー（4/28） ・身だしなみ指導実施（4/11,6/2,8/28,10/2,1/9） ・基礎力診断テストと分析勉強会の実施（5/10,7/4） ・進路研修会、面接指導（7/24,11/28） ・進路ガイダンス、進路相談会（12/5,12/14~18） ・「学年だより」の発行（7/12,12/14）	①自己管理能力を身につけさせ、生活習慣の確立に向けて学年団が連携して指導できたか。 ②基本的なモラルやマナーを身につけさせたか。 ③生徒の進路目標を具体的にさせるための取り組みが、組織的に行うことができたか。	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○2年後の進路を見据えた取り組みとして進路関係の行事を実施した。2年生から学習する系列やコース、卒業後の進路先について考えるきっかけをつくることができた。 ○欠席・遅刻・早退の時には、本人と保護者への連絡を密に取り、状況把握することで生活習慣を正し、元気に登校できるように促すことができた。また、担任と保護者、生徒との良い関係を築くことができた。 ▲挨拶や身だしなみなど基本的なモラルやマナーを身に付けるために、普段の学校生活の中で心掛けることが徹底できなかった。	
12 来年度に向けての改善方策案（学校評価アンケートを踏まえて） ・進路実現に向けた取り組みをさらに加速化させ、進路指導や担任を中心に活動したい。 ・今年度の出席状況、成績、生活態度等に関して自分自身の状況を反省させ、2年次に生かせるよう指導したい。 ・学年団として、日常生活の身だしなみや挨拶指導を強化したい。		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

【意見・要望・評価等】 ・1年生生徒が道路中央で立ち往生していた高齢者を自宅まで送り届けた善行が、新聞に掲載されていたが、ぜひ全校生徒に紹介していただきたい。
--